

# Wel come to AYA

## 綾町の地域づくりのあゆみ

- 1932 町制施行
- 1950 綾川総合開発事業で繁栄
- 1966 郷田實氏町長就任、照葉樹林伐採計画に反対。  
持続可能で自然と共生した地域づくりの推進に取り組む
- 1967 郷田町長による「木工のまちづくり」「一坪菜園運動」  
「自然生態系農業」の推進  
自治公民館活動の展開（全住民が地域の清掃や植栽に参加）
- 1975 綾町の自然を守る条例の制定
- 1978 液状堆肥化施設設置
- 1982 九州中央山地国定公園指定
- 1983 綾町憲章制定
- 1984 照葉大吊橋完成
- 1985 雲海酒造綾工場稼働
- 1988 自然生態系農業推進に関する条例制定  
(有機農業に関する日本で初めての条例制定)
- 1989 自然生態系農産物の認証基準決定  
手づくりほんものセンターの設置  
お酒のテーマパーク「酒泉の杜」オープン
- 2005 綾の照葉樹林プロジェクト開始
- 2007 景観条例の制定
- 2008 森林セラピー基地認定
- 2009 日本で最も美しい村連合に加盟
- 2012 ユネスコエコパークに登録  
CIB 国際まちづくりコンクールで5つ星取得

### 【綾町憲章】

豊かな自然と伝統を生かし、みんなの英知と協力で  
未来にひらく町をめざすため、  
ここに綾町憲章を定めます。(昭和58年3月)

- 自然生態系を生かして育てる町にしよう。
- 健康で豊かな活力ある町にしよう。
- 青少年に誇りと希望をいだかせる町にしよう。
- 生活文化に創意と工夫をこらす町にしよう。
- ふれあいで明るい町にしよう。

## 照葉樹と共に生き夢をつくるまち『綾町』 ～ Welcome to AYA ～

ひととき日々の喧騒を忘れて自然の声に耳をすませましょう。  
風のささやき、鳥のさえずり、小川のせせらぎ。すべてがあなたの内なる声に共鳴するはずです。

宮崎県綾町は、日本一の規模で照葉（常緑広葉）樹林が今なお残り、  
その森林が育んだ文化を永い年月大切に守ってきました。  
森の中へ続くけもの道は古くから生命の足跡でもあります。  
人間もまた、その豊かな自然に包まれて狩猟から農耕、  
そして里の文化へと共生を続けてきました。  
綾町は自然と調和した“照葉樹林都市 綾”を基調に、  
町民がゆとりと安らぎを実感出来る生活を送り、  
誰もが訪れたくなる魅力的なまちづくりを推進しています。  
自然生態系農業や手づくり工芸品をはじめ、  
綾では自然があるがままに人々の営みが息づいています。

# 日本の森から世界の森へ。

## 照葉樹林と共に生きる

綾川渓谷に広がる日本最大規模の照葉樹林(約2000ha)は、原生の状態を残す世界的に希少な森です。

照葉樹林は日本の南西部から中国の揚子江南岸、雲南省、ヒマラヤ南斜面にかけて広がっていますが、世界的に見るとその生育地は狭く、人間が定住して人類の文化の発達をはぐくんできたことから、原生の動植物生態を残した自然林は極めて珍しく、人類の生活文化のルーツをたどるうえでもたいへん貴重なものです。

この素晴らしい森を守りながら、半世紀にわたって官民総力で「自然と共生するまちづくり」を進めてきた綾町は、平成24(2012)年7月、その取り組みが高く評価され「ユネスコエコパーク(生物圏保存地域)」に登録されました。日本では屋久島、大台ヶ原・大峰、白山、志賀高原に続き、32年ぶり5カ所目の登録ですが、地域が主体となって登録が進められた綾町の事例は世界的にもまれなことです。

綾町は「綾ユネスコエコパーク」として、産学官民を挙げてさまざまな取り組みを展開することで、世界のモデル地域となることを目指しています。

## 綾の照葉樹林プロジェクト

平成17(2005)年5月、九州森林管理局・宮崎県・綾町・(財)日本自然保護協会・てるはの森の会の5者が協定書を取り交わし、日本に残された最後の広大な照葉樹林の森を協力して保護・復元していくことを約束しました。綾の照葉樹林プロジェクトによる照葉樹林の保全と復元が行われています。



## ユネスコエコパークとは…

ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)は、人間と自然の共生を目指すため、昭和46(1971)年に「人間と生物圏(MAB)計画」を発足させました。それを実現するために、モデルとして登録された地域のことを「生物圏保存地域(Biosphere Reserve:BR)」と言います。

日本では平成22(2010)年に愛称を「ユネスコエコパーク」と定め、国民にも親しみやすい名称となりました。多様な生物が暮らす自然を厳正に保護するだけでなく、そのまわりで生活する人々の持続可能な発展も目指しています。

## 綾ユネスコエコパークの特徴… 照葉樹林の保護・復元計画と自然生態系農業を柱とする地域づくりの連携

### 綾の照葉樹林プロジェクトエリア(核心地域・緩衝地域)

- ①東アジアの照葉樹林帯の北限付近に当たり、多くの日本固有種がある。
- ②日本の照葉樹林自然林が最大規模で残されている。
- ③標高が高い地域にブナの自然林がある。
- ④平成17(2005)年から「綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画(綾の照葉樹林プロジェクト:綾プロ)」に取り組み、照葉樹林の保護・復元を目指している。※綾プロエリアには、小林市・西都市・国富町・西米良村の一部が含まれます。

### 自然生態系を生かして育てる町(移行地域)

「綾町の自然を守る条例」、「自然生態系農業推進に関する条例」、「綾町照葉の里景観条例」など、約半世紀にわたる有機農業等との連携を通じて、自然と人間の共存に配慮した地域振興策を実施しています。



### 緩衝地域(バッファゾーン)

核心地域を保護する役割と共に、自然に負担がかからない範囲で、環境教育や野外活動、調査研究活動、観光、レジャーに利用できる地域。小林市、西都市、国富町、西米良村の一部が含まれています。

### 核心地域(コアゾーン)

世界全体の財産として高い価値を持つ地域。各国の法律に基づいて厳重に守られる大切な地域です。綾では、森林生態系保護地域として保護されています。

### 移行地域(トランジションゾーン)

人が自然環境と共生する持続的な暮らしを営んでいる地域。さまざまな社会活動や企業活動ができます。世界自然遺産にはない、ユネスコエコパーク独特の区域です。



Aya Biosphere Reserve



# 五感に響く森の力。



名水百選にも選ばれた  
綾川湧水群

照葉樹林の大地にわき立つ綾川湧水群は、昭和60(1985)年7月に環境庁の「名水百選」に選ばれました。森が蓄えたこの水が、綾北川、綾南川となって大地を潤し、そこに住む生物の命を育みます。

## 自然のめぐみがまちを作る

綾町の面積は95.21km<sup>2</sup>、平野は綾北川と綾南川の合流付近にわずかに見られる程度で、80%が森林です。美しく貴重な自然に恵まれた綾町は、「照葉樹林文化論」をもとにした環境保護、そして「自然と共生するまちづくり」を理念に、有機農業の推進や木工のまちづくり、名水などの自然の恵みを生かした産業振興を半世紀にわたって展開してきました。

そんな中、照葉樹林は昭和57(1982)年に九州中央山地国定公園に指定され、昭和60(1985)年には綾川湧水群が環境庁の「名水百選」にも選ばれました。平成17年

(2005)年からは照葉樹林の保護と復元の大規模プロジェクト「綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画(綾の照葉樹林プロジェクト)」が進行しています。

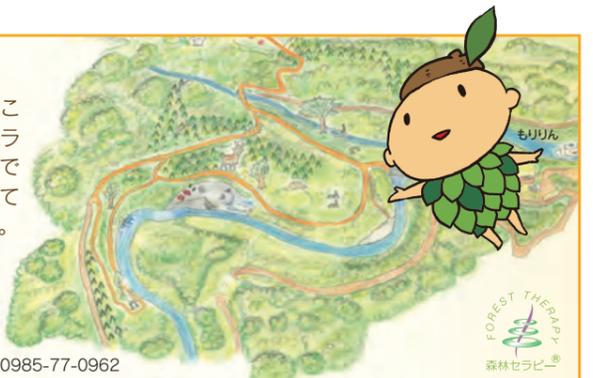
平成24(2012)年、綾町全域はユネスコエコパーク(生物圏保存地域)に登録されました。自然環境の保護・保全に一層の努力が求められているほか、自然科学や環境に関する学習・研究の場としての活用、森林浴やネイチャーツアーなど観光資源としてのますますの活用と工夫への取り組みに対する意識が高まっています。

### 綾の森林セラピー

森林セラピーとは、人間の「こころ」と「からだ」を癒す効果を持っていることが科学的に検証された森で、「案内人」のサポートのもと、散策や食事、リラクゼーションなどを通して、心身のリフレッシュを提供するものです。綾町では、「こころ」に絡み付いた緊張の糸を解きほぐせるようなひとときを過ごしていただけるよう、照葉樹林の豊かな森に、心づくしのコースを用意しています。

料金 / 1組3~6人、1人1,500円(中学生以下500円)  
※ガイド料、保険料込。セラピー弁当(お茶付き)は別途1,000円  
コース / 川中自然公園コース、綾神社周辺コース、綾川荘周辺コース

お問い合わせ / 綾町森林セラピー推進協議会事務局(綾町農林振興課内) TEL.0985-77-0100 / FAX.0985-77-0962





# 有機農業は 人と土づくりからはじまる



## 自然生態系農業の推進体制

平成元（1989）年に「有機農業推進会議」「有機農業開発センター」「有機農業実践振興会」が設置され自然生態系農業の推進体制づくりが進められました。「有機農業推進会議」は将来を展望した事業推進計画の策定と推進にあたっての基本事項等を決定します。その具体的な普及推進機関が「有機農業開発センター」で、推進会議と各生産者をつなぐ役割を担います。さらに、「有機農業実践振興協議会」は各自治公民館の生産者と地域リーダーである支部長・推進員、農協等によって構成され、これらの実践組織が連携を図りながら各地域の特性を生かした積極的な活動を展開しています。

## 自然生態系農産物の流通

自然生態系農産物の一般的流通は、これまで、「安全で味の良い農産物を作る生産者」と「安全な食べ物を求める消費者」との産直提携を中心に行われてきました。最近では一般消費者の安全・健康志向が高まり、県内はもとより県外へも流通販路が拡大しています。近年地産地消運動の高まりから、綾町では、公共施設をはじめ学校給食の食材にも町内で生産される自然生態系農産物が使われています。

## 自然生態系農業の土づくり ～有機質肥料の確保～

土づくりの基本である有機質肥料の確保のため、昭和53（1978）年に町内のし尿を液状堆肥化する自給肥料供給施設、昭和56（1981）年に畜産の振興に併せて家畜糞尿処理施設が設置されました。また、昭和59（1984）年には、「土づくり」のための堆肥の増産を町民に呼び掛け、優秀な個人・団体を表彰するコンクール「造肥増産共進会」を実施。さらに、昭和62（1987）年に家庭から出される生ゴミを堆肥化する生活雑廃コンポスト製造装置が設置され、町内で得られる有機物を農地に還元し資源循環を行うシステムが出来上がりました。



## 後世に受け継ぐ安全

自然に恵まれた綾は「自然生態系を生かし育てる町にしよう」を町民憲章に掲げています。この理念を農と食の分野で実現し、後世に美しい自然と大地を残すため、昭和63（1988）年に全国初となる「自然生態系農業の推進に関する条例」を制定しました。

町は環境にやさしい農法の導入と実践に努め、同時に安全性に対する検査体制を敷いて、認証シールで農作物をランク分けを行い、有機農業の振興と食の安全運動を進めています。平成13（2001）年には、町が日本農林規格（JAS）の有機認定機関に登録され、安全でおいし

い野菜を提供し、全国の消費者から信頼を得ています。「安全な食材を願い、安心して住むことのできる綾町を後世に受け継いでいきたい」と望む気持ちは町の意志として掲げられ、妥協のない有機農業を目指しています。

### 消費者との交流・有機農業の普及活動

### 有機農業推進大会・食のふれあい広場 ～有機農業を支える食文化の集い～



安全な食材を安心して食べられる環境を作るため、生産者と消費者が一同に会し、毎年11月に有機農業推進大会と食文化の集いが開催されています。大会は、有機農業に積極的に取り組む団体、個人に対しての表彰や事例発表、講演など、意義のある内容で行われます。大会の後は、有機農業婦人部が手づくりした、「地域の安全な食材によるふさと料理」を囲んでの交流会が行われます。また、開催当日は隣接した会場で、有機野菜の販売やイベントも開催されています。



「手づくり工芸の里」は綾の代名詞のひとつ。多くの工芸作家が住んでいることでも知られています。照葉樹林がもたらす豊富な自然の素材、カヤ、ケヤキの天然木や竹材を使つての木竹工芸、そして水と土と自然環境を生かした陶芸やガラス工芸、さらに食品加工など、匠の技がますます輝きを増しています。

昭和55（1980）年に綾町は「工芸コミュニティ事業」のモデル地域として国の指定を受けました。それ以来、町では積極的に工芸家の誘致を進め、移住や工房の設立に関する土地の斡旋、融資補助などを行ってきました。そして現在（平成25年7月時点）では、町内に36工房があり、工芸家たちは「工芸コミュニティ協議会」をつくって技術や情報の交流をしており、綾国際クラフトの城などで常設販売を行ったり、毎年11月には「綾工芸まつり」を主催しています。手づくり工芸は綾の重要な地場産業のひとつになっています。

# 匠の生かすまち

「手づくり工芸の里・綾」



## 綾の工芸品



**染織 Dyeing and weaving**  
豊かな森林資源と湧き出る清流を生かし熟練した職人が織り上げる絹織物は、すべての工程が手づくりです。



**木工 Wood craft**  
たんす、置物、丸盆やダイニングテーブル、箸に至るまであらゆる手づくりの木工品が町の各所で作られています。とりわけ豊かな森林資源が産出する銘木を使った、綾のカヤ材碁盤は全国に名の通った工芸品です。



**竹工 Bamboo craft**  
綾の温暖な気候の中で自然に生える、繊維が細かく固い、良くしななって折れにくい竹で生活用品や竹刀が生産されています。なかでも剣道愛好者に名高い“剣流斎”は一日に数本しかできない手づくりの貴重な竹刀です。



**陶芸 Ceramic art**  
小石原焼の流れをくんだ落ち着いた色合いで親しみのある綾城焼をはじめ、さまざまな特徴を持った陶芸工房が綾を制作の拠点にし、活躍しています。



**ガラス工芸 Glass art**  
日本の風土と自然を高熱の輝きの中に表現する、西洋と日本の見事な融合芸術が綾のガラス工芸です。太古の原生林に抱かれた綾の里が創造力を喚起し、新しい感性の作品を作り出しています。

## 現代の名工



ガラスアート黒木  
**黒木 国昭**

黒木国昭氏は平成3(1991)年ガラス工芸分野では初めて国の卓越技能者「国の現代の名工」、さらに平成18(2006)年春には黄綬褒章を受賞し、現代のガラス芸術を代表する作家です。異文化のガラスに日本人の感性を込め、日本の伝統文化、歴史、ロマン、自然を追及した作品には、日本独特の美意識が見事に表現されています。黒木氏はガラスという西洋の素材に、日本の装飾美・琳派、日本人の感性を刻むことで、まったく新しい世界を生み出しました。国内はもとより、パリ展(平和技術祭)大賞受賞、ローマ国際美術博覧会最高賞など、国内だけでなく世界でも活躍されています。



綾の手袖染織工房  
**秋山 真和**

日本工芸会正会員・秋山真和氏は大正時代より沖縄でも広く染織の研究と創作を続けられたことでも著名な、父である秋山常磐氏より染織業を引き継ぎ、綾で綾の手袖染織工房を主宰。天然灰汁(あく)発酵建て藍染め、大和貝紫染め、小石丸蚕などによるさまざまな美しい作品を創作、その作品は伝統工芸展など国内外でさまざまな賞を受賞しています。また、平成18(2006)年には秋の褒章で「黄綬褒章」を受賞しています。秋山氏は、世界各地の貝紫を研究し日本産の貝での染色に成功。その功績が認められ、平成7(1995)年に国の現代の名工に認定されました。

## 手づくりの工芸品が一同に集結 綾工芸まつり



毎年11月末に綾町工芸コミュニティ協議会が主催し、綾工芸まつりが開催されます。町内の手づくり工芸品、自然食品等を一堂に集めて展示販売し、開催期間中は九州全土より2万人を超える観光客が訪れます。家具やガラス工芸、器、染織物からアクセサリに至るまで、会場のてるはドームに並べられた綾の作家たちによる手づくり工芸品は一見の価値があります。

## 綾国際クラフトの城

工芸品を多くの方に楽しんでいたための施設が“綾国際クラフトの城”です。多くの匠の逸品に触れることができるほか、陶芸、織物など気軽に工芸体験ができる施設も整っています。

## 自然と結びついた産業観光

綾町の地域づくりでは、自然環境を生かした産業振興が進められ、観光は地域産業の延長上にあるという「産業観光」の理念のもとに、観光の振興も行われてきました。

その代表格が「酒泉の杜」です。焼酎メーカー国内大手の雲海酒造が、綾町の豊かで清涼な水を決め手に焼酎蔵を建設したのが始まりで、工芸工房やレストラン、宿泊施設を兼ね備えた施設に成長しました。ここに、「見て、食べて、遊んで、体験して、泊まって」という産業観光の全体像が完成したのです。

また、1984(昭和59)年に完成した「綾の照葉大吊橋」は、照葉樹林を間近で見て、自然の恵みや環境保護の必要性を感じてもらおうと架けられたもので、綾町のシンボルでもあり、年間約15万人が国内外から訪れる一大観光地にもなっています。

近年では観光の多様化にともない、森林セラピーやカナディアンカヌー、水上スキー、工芸、乗馬、農業の体験、工場見学などさまざまなメニューを用意し、雄大な自然とともに地域独自の食や体験などを楽しんでもらうための取り組みをしています。

## 日本最大級の照葉樹林にかかる吊橋 綾の照葉大吊橋

照葉大吊橋は、綾の照葉樹林文化の源である森を守り、普段見られない視点から自然の恵みや大切さ、自然生態系の素晴らしさを多くの人に肌で感じてもらうため、昭和57(1982)年に着工、昭和59年(1984)年に完成しました。今では綾町のシンボルとなっており、26年が経過した平成23(2011)年10月には、デザインも変更され、新しい吊橋に架け替えられました。

新照葉大吊橋は長さ250m、幅1.2mで、眼下を流れる綾南川からの高さは142m。足元部は金網部分も多く、まるで空中散歩をしているようなスリル感を味わうことができ、視野いっぱい広がる緑と大空のパノラマが楽しめます。



## 錦原台地の爽快な風の中を駆け抜ける 綾馬事公苑

昔から競走馬を飼育してきた伝統がある綾。綾馬事公苑は宮崎県内有数の乗馬クラブで、全天候型の屋内馬場やクラブハウスも完備しています。初めての方から本格派まで気軽に楽しめる豊かな自然に彩られた雄大なコースには、ライディングの気ままな心地よさが広がり、人と馬の心がひとつになって緑の風の中を駆け抜けるブリティッシュライディングの楽しさを感じることができます。



**花時計**  
馬事公苑の中にある直径28mの大きな花時計。季節ごとに咲く約2万本の花々が目を楽しませてくれます。「花いっぱい運動の町・綾」のシンボルです。



## 町民の交流の新たなアンテナスポット 産業観光会館『綾ふれあい館』

平成23(2011)年9月1日にオープンした産業観光会館「綾ふれあい館」は、木造2階建てで1階は開業希望者のためのチャレンジショップや展示スペース、町民、観光客が気軽に立ち寄ることができるサロンも設置され、新たな産業の起点として情報の発信をしています(常設販売コーナーでは綾の工芸家の作品を購入することもできます)。また、2階は「商工会議所」「大研修室」となっており、今後多くの人々が触れ合う場所として期待されています。



## 照葉樹の森に抱かれた癒しの空間 『蔵元 綾 酒泉の杜』

豊かな自然の恵みを生かした酒蔵や、静かな佇まいの純和風旅館、温泉、レストラン、お土産処があり、楽しいひとときをゆったりと過ごせる空間となっています。また、隣接する「雲海酒造 綾蔵」でつくられた本格焼酎やワイン、地ビールが試飲できるコーナーや、敷地内には現代の名工・黒木昭氏のガラス工房もあり、ガラス工芸の制作見学・体験なども楽しめ、人気の観光スポットとなっています。

## 綾城

綾城は今をさかのぼること約680年前の山城として、日本城郭協会の時代考証に基づいて再現されたものです。すべて木造で、綾町の山林から調達した木材が使われています。館内は資料館として、綾町の歴史を振り返ることができるようになっており、また、中世の武士の姿をしるすことができます。



## 大自然の中でさわやかな汗を流す楽しさ

スポーツキャンプ王国として名高い宮崎県でも、綾町は四季を問わず全国各地から多くのスポーツ団体が訪れる町です。世界有数の照葉樹林が生み出す澄んだ空気や一年を通して温暖で過ごしやすいスポーツ環境が心身の鋭気を養い、リラックスしながらも集中したトレーニング環境をつくりだしています。また、陸上競技場をはじめ、サッカー場、野球場などの屋外施設、また、平成17年にオープンした「綾てるはドーム」などの各種スポーツ施設や合宿に最適な宿泊施設も充実しており、町民一体となってスポーツに親しめる町づくりに励んでいます。



## 継承されていく文化の源「綾」

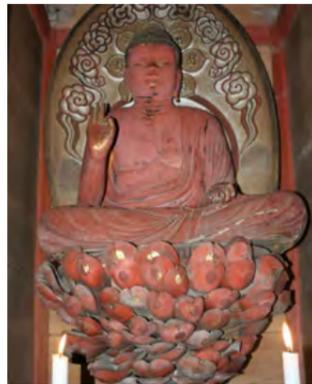
中央台地の尾立地区に縄文文化を示す遺跡が残されていることから、綾町には縄文時代にはすでに人が住みついていたことがうかがえます。その後、戦国時代を経て集落が形成され独自の文化が発達し、豊かな自然環境をそのまま現代に引き継ぐ町となりました。

した。現在町内には、自然を満喫し森林浴を楽しむ照葉樹林や河川公園、歴史探訪ができる施設、伝統と文化に触れることができる数々の名所があり、訪れた人々に癒しと感動を与えています。



### 綾のイチイガシ

県指定天然記念物。初代綾城主が居館の一角に植えたものと伝えられ、根元に梵字が刻まれた石塔などが祀られています。県内で最大の幹回りを持ち、イチイガシでは県内で最初の指定木となりました。



### 木造阿弥陀如来坐像

室町時代に作られたと考えられる木造阿弥陀如来坐像は県の指定有形文化財。西光寺の本尊で、寺跡に建立された川中神社に祀られています。毎年11月の大祭の当日に1日だけ開帳され、貴重な姿を拝観できます。



### 尾立縄文遺跡

大正時代の初めに住民によって発見され、京都大学の発掘調査で多数の縄文式土器や石器類が出土しました。約4000年前の縄文後期に属するものと考えられています。代表的な出土品は宮崎県総合博物館に展示されています。



野球	錦原野球場 [両翼92m、センター120m]
サッカー	錦原サッカー場 [本コート1面、サブコート2面] 綾てるは広場、小田爪多目的広場、松原公園
テニス	綾町テニス広場 [砂入人工芝コート4面]
陸上競技	小田爪陸上競技場 [全天候型 1周400mトラック]



### 国内最大級の屋内施設 綾てるはドーム

平成17(2005)年4月に木造型多目的屋内施設「綾てるはドーム」がオープンしました。綾産材を利用したアリーナ面積は4,800㎡(60m×80m)、大空間の開放感と木の温もりを感じながらスポーツを楽しむことができます。また、施設内にはトレーニングルームや武道場、シャワー室なども完備しています。

(施設使用例) バレーボール 8面 バasketボール 4面 バドミントン 16面 テニス 6面 ハンドボール 3面 柔道 6面



### 国内最大級の照葉樹林に囲まれた 水上市スキー場 広沢ダム水上市スキー場

平成23(2011)年、広沢ダム湖を活用した「広沢ダム水上市スキー場」がオープンしました。綾町と、宮崎県水上市連盟が開設したもので、ウォータースポーツの拠点として、水上市スキーができるように整備。水上市スキーの競技力向上と普及を図りながら、青少年の健全育成を目指し、町の新たなスポットとして期待されている場所です。



■県指定文化財 綾のイチイガシ/川中神社木造阿弥陀如来坐像/田中園廣宅跡/綾町古墳  
■町指定文化財 綾城跡/内屋敷城跡/垂水城跡/肥田木城跡/垂柳駅跡/田村一三宅跡/野首の古井戸/尾立縄文遺跡/明見神社イチイガシ/綾神社のクスノキ/川中神社堂宇/入野神社社殿/黒葛原武家門/旧清水家住宅/垂水弁阿闍梨の墓/仏像寺阿弥陀如来立像/綾光寺ねはん画像/伝徳寺ねはん画像/献上貼古文書/袖木崎古文書/天然灰汁発酵建ての藍染め技法

# 生涯学習

LIFELONG LEARNING

## 未来を創造する、町民の活力の源

綾町では生涯学習による人づくり・まちづくりを推進するために、町公民館と各自治公民館を中心に、生涯学習講座や事業が行われています。ここでは生け花や手芸、舞踊など町民からの要望に基づいた講座をはじめ、住みよい町づくりを目指すための学習が行われています。そして、その学習活動や成果を生かした実践活動が、豊かで充実した人生や活力あるまちづくりにつながっています。



- 『町公民館生涯学習講座』年間実績  
講座数 約40講座 参加人数 述べ3,000人
- 『自治公民館生涯学習講座』年間実績  
講座数 約130講座 参加人数 述べ7,500人



## 総合文化祭

幼児から高齢者まで、町民が普段から取り組んでいる生涯学習の発表の場として、手づくりの作品を持ち寄り町体育館に展示して、創作の苦労話や自慢話で盛り上げられます。祖父が孫の作品を見たり、子どもたちが大人の作品を見て感動したりと、3世代が幸せに暮らせる町を提唱する綾町ならではの雰囲気にも包まれます。伝統文化の継承と地域住民の交流の場として大きな意味を持つこのイベントは、同日、農業祭などが共催されることもあり、町が大きなにぎわいを見せる一日となります。

## 生涯学習発表会

毎年、3月に「生涯学習発表会」が開催されています。発表会では、民謡、フラダンス、太極拳、大正琴など、内容のバリエーションも豊富で参加者はこれまで練習を重ねてきたものを披露しています。



## Community Activities



1



3



4

# 自治公民館活動

## 『絆』を大切にしたまちづくりの拠点

綾町には22の自治公民館があり、それぞれの地域で積極的な活動を続けています。町主催の催しには、すべての自治公民館が協力して運営にあたり、学校と連携して子どもたちの教育に積極的に取り組んでいます。

自治公民館活動の事業は「子どもをたくましく成長させよう」「環境をきれいに豊かにしよう」「地域をなごやかに住みよくしよう」「生活を健康で楽しくしよう」という4つの目標からなり、それぞれの目標ごとに各公民館が細かく活動内容を考えて実践しています。

年間を通して行われる行事は「春の交通安全運動」に始まり、「河川一斉運動」「ふるさと夏まつり」「家庭菜園の推進」「町民体育大会」「秋まつり」「手づくり文化祭」など、四季を感じさせる催しで盛りだくさんです。この自治公民館活動を通して町民は親和を図り「絆」を深め、連帯性と教養を高めるとともに青少年の健全育成や明るい家庭を築くことができます。また、自治活動を積極的に展開することで、産業の振興・町民の健康増進・各種団体の育成と活動を促し、各関係機関・団体との連携を図ることによって、生涯学習・農村文化の振興に大きく貢献しています。

- 1 3 町民体育大会
- 2 自治公民館 花いっぱい運動
- 4 河川一斉清掃

# 教育

EDUCATION

## 人間育成の土壌を作り、自ら考え行動する子どもを育てる

照葉樹林の恵みに囲まれた綾町には、子どもたちの人間形成と感性に欠かすことのできない豊かな自然と美しい風景があふれています。「未来を担う子どもたちに、この恵まれた環境の中で心身ともに健やかに育てほしい」という思いを込めた、さまざまな教育活動の取り組みが実を結び始めています。



## 綾町子ども憲章

綾町では、町内に暮らすすべての子どもが主体的に社会に参画し、自己実現が図れるよう支援するとともに、子どもの権利擁護の推進を図るため、綾町子ども憲章を制定しました。

自然に恵まれた綾町に生きる私たちは、家庭・学校・地域の一員として絆を深め健やかに成長していくことを誓います。

### 自然

豊かな自然を大切にし  
環境にやさしい  
行動をします

### 命

命を大切に  
みんなで仲良く  
助け合います

### 夢

大きな夢や希望をもち  
元気に明るく  
生活します

### 礼儀

自分からあいさつをし  
礼儀正しくします

### 感謝

優しさと思いやりをもち  
感謝の心  
で生活します

平成23年6月 綾町青少年健全育成町民会議 制定

## 放課後子ども教室推進事業

中学生  
対象

### 学習教室 昴

平成21(2009)年より綾中学校に通う生徒たちを対象に、学習教室「昴」からプロの講師を招いて夜間塾を実施しています。

小学生  
対象

### ぐんぐん、がっちり教室

綾小学校に通う子どもたちを対象に、学校と違った視点のことわざや歌を教え、授業の復習や宿題の指導を実施しています。

綾土曜  
学校

### A S S

PTAが中心となり、地元大学の協力を得てボランティアを募り、生徒が学習サポートを受けながら、主体的に「わかる」「できる」ようになることを目的として学習の場を提供しています。



## 登館日 ~自治公民館での一日~

綾町の小学校では夏休みに「登館日」を設け、学校に登校する代わりに各地区の自治公民館に行き、自治公民館や子ども会役員などの協力を得て、屋外活動や昔ながらの自然遊び、地域の伝統文化を学びます。



## 国際交流

International Exchange

### 時代の先を見る グローバルな人材育成へ

これからの国際化の時代に対応できる人材を育成するために、綾町では、積極的に国際交流に取り組んでいます。中でも、英語学習については、保育所・幼稚園・小学校・中学校に外国人の指導者を派遣しています。また、放課後の英語教室も長年実施しており、最近では韓国鎮安郡との交流をきっかけに、韓国語の教室も開講しています。

### 中学生のシンガポール ホームステイ

平成17(2005)年から民間企業の英会話講師を雇用して、子どもたちへの英会話指導を行っており、また、中学生のシンガポールへの短期ホームステイを実施してきました。外国人との交流を進めることにより、国際理解を深め、国際社会に貢献できる人材の育成に力を注いでいます。

### 韓国鎮安郡と 友好交流協定を締結

★鎮安郡と綾町のこれまでの経緯

平成18(2006)年から交流を開始し、平成23(2011)年11月に韓国鎮安郡と友好交流協定を締結しました。その目的は、文化、教育、産業、行政などの広範な交流を通じて相互理解と友好親善を深め、両地域の繁栄と発展に寄与することにあります。子どもたちの短期ホームステイや民間のスポーツ交流など、持続的な交流を通じて、国際感覚豊かな人材育成に力を注いでいきます。



# 健康・福祉

HEALTH & WELFARE

## 元気な人を育て 元気な町を実現する

綾町では健康で安心して暮らしていくために施設整備や  
保健・医療体制の充実を図っています。



### 健康増進施設

#### 健康センター

町民の健康管理を行う施設。特に高齢者を対象にした健康管理については、通常の健康手帳配布・健康教室・健康相談・基本健康診査のほか、がん検診・機能回復訓練・訪問検診を行うなど、充実した内容になっています。また、母子保健事業では妊婦の段階から相談・指導を行いながら元気な赤ちゃんの誕生をサポートし、乳幼児の健診に関しては、特に歯科保健推進協議会による虫歯予防に力を入れ、ブラッシング指導・フッ素塗布からおやつ試食に至るまできめ細かい指導を行っています。

綾町では、この「健康センター」で胎児のころから高齢になるまで生涯の健康管理を行うことから、町民のあらゆる相談の窓口的な存在になっています。



#### 主な保健活動

- ・基本検診(20歳以上) ・がん検診 ・保健相談 ・介護相談 ・発達相談
- ・乳幼児健診 ・乳幼児訪問 ・歯科検診 ・介護予防 ・健康講座
- ・育児支援(赤ちゃん運動会)

### 高齢者福祉施設

#### 高年者研修センター ■ デイケアセンター

#### 綾町ケアハウス

この施設は平成9(1997)年に開設され、一人で生活するのに不安な高齢者が約30人入居しています。高齢者の立場に立った住みよい住居を提供し、入居者の自主性を尊重しています。特に食事には気を使い、栄養士の献立による高齢者に適したおいしい食事を提供し、入居者すべてが快適で満足できるサービスを心がけています。

#### 主な保健活動

- ・敬老年金の支給(80歳以上5千円・88歳以上1万円・100歳以上5万円)
- ・金婚式の開催 ・ねたきり高齢者等介護事業
- ・高年者運動会



### 乳幼児保育・児童福祉施設

- 児童館 ■ 子育て支援センター ■ 南俣保育所
- 中坪保育所 ■ 北俣保育所 ■ 綾保育園
- 綾幼稚園

#### 主な保健活動

- ・保育料補助(保育所及び幼稚園に2人以上入所または入園している場合2人目から無料)
- ・放課後児童クラブ



## これまでの主な受賞及び指定

- 52.9.28 - 保健文化賞(第29回) 朝日新聞社厚生文化事業団
- 58.1.1 - 日本の自然百選(九州中央山地国定公園) 朝日新聞社、森林文化協会
- 60.7.22 - 日本の名水百選(綾川湧水群) 環境庁水質保全局長
- 60.7.31 - 水資源功績団体(綾町自治公民館) 国土庁長官
- 61.4.19 - 森林浴の森百選(綾渓谷の照葉樹林) 緑の文明学会
- 61.6.5 - 青空のまち(どこまで見える青空コンテスト) 環境庁大気保全局長
- 61.12.1 - 潤いのある町づくり 自治大臣
- 61.12.9 - 農村アメニティコンクール優良賞 農村開発企画委員会
- 63.1.30 - 星空のまち(スターウォッチング) 環境庁大気保全局長
- 63.1.22 - ふるさと賞(第1回) 旅行新聞社
- 元.7.11 - 緑化推進 内閣総理大臣
- 3.3.3 - ふるさとづくり大賞 内閣総理大臣
- 3.10.23 - アメニティあふれる町づくり 環境庁長官
- 3.11.25 - 全国花いっぱいコンクール最優秀賞 毎日新聞社、日本花いっぱい協会
- 4.5.16 - 旅のまち30選 日本旅ペンクラブ
- 4.11.13 - 花のまちづくりコンクール最優秀賞(第2回) 農林水産大臣
- 5.6.30 - 朝日森林文化賞 朝日新聞社、(財)森林文化協会
- 5.7.10 - 名水庭園手づくり郷土賞 建設大臣
- 6.10.17 - 過疎地域活性化優良事例町村 国土庁長官
- 5.7.10 - 名水庭園手づくり郷土賞 建設大臣
- 6.10.17 - 過疎地域活性化優良事例町村 国土庁長官
- 7.3.6 - ゆたかな畜産の里づくり表彰 農林水産省畜産局長
- 7.3.22 - 「水の郷」認定 国土庁長官
- 7.6.30 - 日本一星の見える町 環境庁大気保全局長
- 7.8.4 - 水源の森百選 林野庁長官
- 8.2.27 - 環境保全型農業推進コンクール大賞(第1回) 農林水産大臣
- 8.5.1 - 地域づくり顕彰大賞(第1回) 宮崎県知事
- 9.3.26 - 有機農産物流通認定 東京都知事
- 9.6.11 - 優秀観光地づくり賞(第4回) 日本観光協会
- 9.11.23 - 農林水産畜産部門天皇杯受賞(IA綾町(財)日本農林漁業振興会)
- 9.12.21 - 岩切章太郎賞選考委員賞 宮崎市長
- 10.1.26 - 首長が選ぶ元気な自治体西の横綱 共同通信社
- 13.9.26 - 結核対策推進優良市町村受賞 結核予防会
- 14.3.29 - むらづくり表彰(綾町有機農業実践振興会) 宮崎県知事
- 14.10.2 - 豊かなむらづくり農林水産大臣賞(綾町有機農業実践振興会) 農林水産大臣
- 17.3.18 - 毎日地方自治体賞優秀賞 毎日新聞
- 17.6.17 - 土木学会デザイン賞優秀賞(照葉大吊橋) 土木学会
- 21.10.6 - 美しい村連合に加盟
- 19.3.22 - 森林セラピー基地認定 森林セラピステアリングコミッティ
- 19.7.1 - 恋人の聖地選定(創造の森) NPO法人地域活性化支援センター
- 20.3.25 - 森林生態系保護地域指定(照葉樹林帯) 林野庁
- 24.7.11 - ユネスコエコパーク登録 ユネスコ
- 24.10.13 - 花のまちづくり国際コンクール 5つ星・特別賞 カナダCIB

## ユネスコエコパーク (生物圏保存地域) 登録

平成24年7月11日

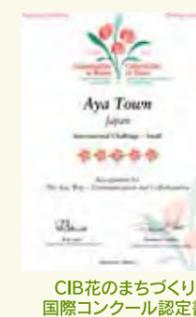


綾ユネスコ  
エコパーク登録認定証

日本最大級の照葉樹林を含む綾町全域は、国連教育科学文化機関(ユネスコ)のユネスコエコパークに登録されました。森林の保全活動をはじめ、有機農業の推進や自治公民館活動など「自然と調和するまちづくり」を積極的に進めてきたことが高く評価されたものです。登録以降、綾町の取り組みはさまざまな媒体を通して広く紹介されたほか、国内外の団体や研究者の視察研修が相次いでいます。世界のモデルとなる地域づくりを目指し、今後もさまざまな取り組みを展開していきます。

## 花のまちづくり 国際コンクールで最高評価

平成24年10月



CIB花のまちづくり  
国際コンクール認定書

綾町は、世界の108地域が参加してカナダ・エドモントン市で行われた「CIB花のまちづくり国際コンクール」で、最高評価の5つ星を獲得しました。さらに、森林の保全・復元や有機農業の推進、自治公民館活動による住民の連携のあり方が「綾方式」として評価され、特別賞を受賞。ユネスコエコパーク登録に続いて、綾町の自然と共生する地域づくりが世界的に認められました。世界の「花のまちづくり」先進地との交流も生まれ、自然と景観に配慮したまちづくりへの大きな励みになっています。

# 綾のイベント

## 盛りだくさん



### 綾雛山まつり

綾町には江戸時代から、長女が生まれた初節句に親戚や隣近所の人たちが、山や川で拾ってきた巨木や古木を飾り付け、花木などを持ち寄って奥座敷に山河を再現した「雛山」を作ってお祝いする風習が残っています。この雛山には自然の如く、清く優しく、大きく育てて欲しいとの願いが込められています。この伝統文化を後世へ継承するため、平成13年から綾町商工会女性部が中心となり、町内の商店街に美しく雛山を飾りつける綾雛山まつりを開催しています。2月下旬から3月上旬にかけて、商店街を中心に約20カ所で雛山が展示され、期間中には特産品の販売やスタンプラリーなどさまざまな催しが行われます。



### 綾の花火大会

毎年9月中旬、綾南川の河川敷で花火大会が開かれます。澄みきった夜空に響く花火の音は山々にこだまし、尺玉は空を覆ってしまうくらいの大規模で観客を魅了します。



### 男山まつり

「男山」は、男児の健やかな成長を願い、岩や苔などを使って雄大な奥山の風景を再現し、五月人形やかぶとを飾りつけるものです。すべて住民による手作り、勇ましい人形や趣向を凝らした飾り付けが見どころです。開催期間中に鎧かぶとを着た子どもが商店街を練り歩く武者行列(パレード)も行われます。



### 綾ふるさと夏祭り

毎年7月に開催。綾神社の神輿が町内を勇ましく練り歩く御神幸行列で始まり、夕方からは大人から子どもまで町民が参加してにぎやかに行うパレード、演奏やダンスなどのステージイベントや抽選会が盛大に行われます。



### ふれあい綾もりの市

地どれの新鮮な野菜や加工品、工芸品、アート作品、手づくり雑貨、惣菜、スイーツなどが並ぶ軽トラ市。綾町中心部のにぎわい創出を目的に、毎月第1日曜日に開催されています。会場では、ライブや抽選会などの催しも行われ、出店者と買い物客が会話を楽しみながら交流する姿があちこちで見られます。



### 綾照葉樹林マラソン

照葉樹林を駆け抜けていくコースは景色も良く子どもから本格ランナーまで人気があり、1986年にスタートして以来、参加者も7,000人を超える規模の大会です。10月下旬開催。



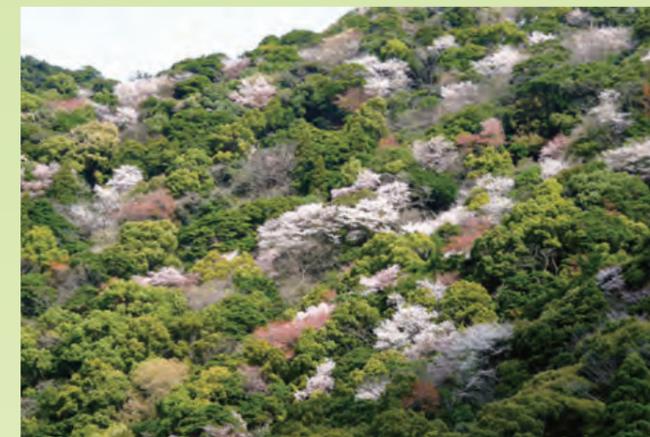
### 綾競馬

11月の第1日曜日に開催される綾競馬は、毎年2万人もの観光客が訪れる人気のイベント。目の前を競走馬が疾走する迫力満点のレースから、かわいいポニーのレースまで行われます。



### 綾町総合文化祭

毎年11月に、有機農業推進大会や農業祭と同時開催されます。生涯学習講座に通う町民が1年間の成果を発揮し、講座で制作した押し花や竹細工、人形、写真などの作品を発表・展示します。また、幼児～中学生の絵画作品や工作なども展示されます。



### 綾の山桜

3月下旬から4月上旬にかけて、照葉大吊橋周辺に点在する山桜が見ごろとなります。また、近くの綾馬事公苑では、約1,300本のソメイヨシノと菜の花が咲き誇ります。



### 新緑の照葉樹林

つやつやと光る照葉樹の緑がまぶしい4月中旬ごろから、シイの薄い黄色の花がもこもこと咲き、森がにぎやかな雰囲気になります。照葉大吊橋までの道々でも、吊橋の上からも、美しい景色を楽しむことができます。シイの花がハート型に見えるスポットも。



# 特産品

## Special Products

### 綾町の自然が育んだとびきりの味

自然の恩恵をいっぱいを受けた、とびっきりおいしい綾町の農産物たち。  
自然生態系農業を生かした、安心・安全な作物を作っています。  
思わず笑顔になるような、綾町ならではのおいしさをお届けします。



# 綾牛

### 地元で生まれ育ったトップクラスの肉

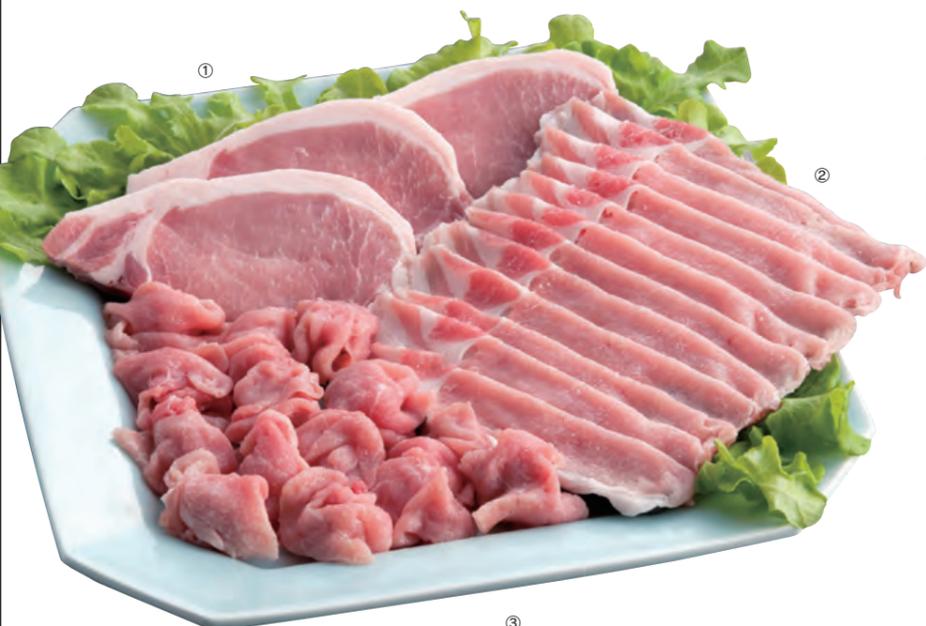
年間約300頭の出荷で希少性が高く、肉質4等級以上が約60%と宮崎県内でもトップクラスの成績を誇るブランド牛。きめ細やかな肉質や融点の低いねばり気のある脂質が和牛本来の旨みを最大限に引き出しています。



綾牛 焼肉用

綾牛 パラ焼肉用

※写真は綾牛 焼肉用



## 綾ぶどう豚

- ①綾ぶどう豚 ロースとんかつ用
- ②綾ぶどう豚 ロースしゃぶしゃぶ用
- ③綾ぶどう豚 ももしゃぶしゃぶ用

### ぶどうのしぼりかすを飼料に混ぜて育成

地元のワイン酒造工場から出るぶどうのしぼりかすを飼料として与えています。ぶどうに含まれるポリフェノール効果により、柔らかくて臭みの少ない肉質です。

③



### 日向夏ドレッシング 日向夏ぼんず えごまドレッシング

綾町産の日向夏みかんを使用。えごま(しそ)は自家栽培した無農薬のもので、本醸造薄口しょうゆと醸造酢、玉ねぎ、きび砂糖を黄金比でブレンドしました。



### 綾もぐのピクルス

ニンジンやキュウリ、ブロッコリーなど綾町産の野菜をふんだんに使い、同じ綾町にある大山食品の酢を使用しています。子どもにも食べやすいマイルドな酸味に仕上げています。



## 日向夏みかん

### 綾夏ちゃん

綾町産日向夏みかんを使ったオリジナルブランドのジュース。甘さと酸味のバランスがよく、すっきりとした味わいです。

酸味が少なく、薄味でさっぱりしている人気の果実。白皮ごと食べるのがおいしい食べ方です。



人気商品!



### にんじんジャム たまねぎジャム

「ほりさんち」の無農薬・無化学肥料の野菜を材料にしたジャム。サラダのドレッシングやスープのかくし味など、いろいろな料理で活用できます。

野菜の香りがいきています



### 甘酒 古代米甘酒

綾町産のもち米、黒米、米こうじを使用した、完全無添加の甘酒。かまどを使った昔ながらの作り方を伝承し、米本来のうま味を引き出しています。

新鮮な特産物がたくさん!

### 綾手づくりほんものセンター

町役場近く、町の中心部にある『綾手づくりほんものセンター』では町内の農家から毎朝出荷される新鮮な野菜や果物、自然食品や加工食品が並べられ、地元の主婦や観光客、町外からの買い物客でにぎわっています。一度食べれば、野菜がこれほど甘く、味が濃かったんだと思い出させてくれます。



綾の旬をアイスで味わう!

### 綾・ほんものアイス工房

日向夏みかんやドラゴンフルーツなど町内で生産されている四季折々のフルーツを使ったアイスやシャーベットを味わうことができます。また、クリスマスにはオリジナルのアイスケーキも販売しています。※地方発送も承っています。



センター  
となりには...

## 綾町のシンボル



**町旗**  
緑色は綾の大自然を、AYAは大字南俣、北俣、入野をYは南と北の綾川を表したもの。  
(昭和54年庁舎落成記念)



**町章**  
綾の文字を丸く図案化したもの。  
大始良万之助(北麓・1758年生)  
文政5年(1822)ごろの作。



**町花[イワツツジ]**  
低い山に分布する落葉低木。幹は2～3mに達しよく車輪状に分枝する。葉は枝の先に3輪生じ、革質ではない。花は2月下旬から4月上旬に葉に先立って咲く。枝の先の混芽に1～3花を散状につける。花柄は6～10mm、色は紅紫色。

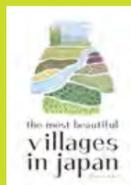


**町木[照葉樹]**  
照葉樹は一年間葉が落ちず、葉の表面はピカピカ光っている。照葉樹林は低木層、亜高木層、高木層の3層の木で形成されている。  
主にシイ・カン類がこれに当たる。



綾町 宮崎県

**【綾町】**  
〒880-1392 宮崎県東諸県郡綾町大字南俣515  
TEL.0985-77-1111 / FAX.0985-77-2094  
**HP** : <http://www.town.aya.miyazaki.jp/ayatown/>  
**E-mail** : [ayatown@town.aya.lg.jp](mailto:ayatown@town.aya.lg.jp)  
人 口/男:3,370人 女:3,854人  
合計:7,224人(平成22年国勢調査)  
総面積/9,521ha[森林面積:7,572ha(79.5%)]



綾町は日本で最も美しい村連合に加盟しています。

照葉樹林とともに生きるまち“綾”まちづくり要覧

# Aya Style

アヤスタイル



綾町町勢要覧



## Aya Biosphere Reserve

綾町生物圏保存地域